

NINGYOCHO

2020 SPRING VOL.155

春うらら
親子で楽しむ
春さんぽ



NINGYOCHO 2020 SPRING VOL.155

令和2年3月11日 通巻155号 発行：人形町商店街協同組合 東京都中央区日本橋人形町1-18-9 03(666)9064 編集制作：(株)スタジオ/角アオアシ・ケール 印刷：(株)アイン・コーポレーション

人形町 いまむかし

人形町の歴史を
紐解く！

桜の名所の 盛り土のお囃し



「BAR BALLADE」店主
山田譲司 やまだ じょうじ

人形町で円タクが生業の祖父から数えて三代目。郷土史家、有田氏に師事。資料を受け継ぎ日々研究を重ねている。

人形町大通りには数本の桜の樹があります。ここ数年で見事な枝振りとなり、沢山の花を咲かせるようになりました。花吹雪舞い散る大通りでいつの日か花見のイベントができればたらと商店街の若い方々が模索しているようで、実現できれば素敵なことです。この桜の下で花を愛で、酒を飲む花見は、春には欠かせない行事ですが、何時から我々庶民が桜を楽しみ、酒宴を催すようになったのでしょうか。

庶民に花見を推奨し酒宴を許したのは、八代将軍、徳川吉宗と言われています。享保の改革で質素倹約、風俗取締り強化と締め付ける一方で健全な娯楽として花見を考えた訳です。吉宗は江戸各地に桜を植えさせました。隅田川堤にも、享保2年(1717)享保11年(1726)と

二度に渡りたくさん桜を植樹しています。しかし、隅田川堤の桜が評判になるのは、吉宗が桜を植えた時期よりもう少し先の方です。その一翼を担うことになった人形町界隈のお話があります。

大歓楽街、中洲新地

現在の日本橋中洲は、明治期に埋め立てられた土地ですが、江戸の一時期にも埋め立てたことがありました。大伝馬町名主、馬込勘解由の申請によって明和7年(1770)から隅田川の三つ俣と呼ばれる川が三方に分かれる中央にある浅瀬、中洲の埋め立てに着手。安永元年(1773)、浜町河岸から地続きとなる、およそ1万坪近い中洲新地ができました。数年の後、町屋が整い、料理屋、水茶屋も立ち並び、大道芸人が賑やかし、夜には、料理屋の明かりや提灯の灯りが水面に

中洲の土砂の行方が春の粋に

栄華を極めた歓楽街、中洲を取り崩し、生まれた膨大な土砂は、隅田川土手の普請に使われました。大幅にかさ上げされた土手に桜を植え、さらに後、桜が大樹となった頃、隅田川堤は桜の名所として評判になったのです。庶民の遊興に目を付け、無料なことをした官吏でしたが、時が流れ大樹になった桜を庶民が喜び、再び酒宴が繰り広げられる。野暮が転じて春の風情となるとは、櫻は異なるもの粋なものです。

SHOP LIST 〈協賛店一覧〉

味処

		炭焼・和の味 はませい (6231)1198
		富士そば (3669)5212
すし・天ぷら あき (3662)5555	Basement Bar (5649)3450	
ふぐ あをき (3666)0820	北の味紀行と地酒 北海道 (3667)3255	
美酒味肴 いわ瀬 (3664)3322	牛めし 松屋人形町店 (5652)5202	
割烹 魚久 (3666)3848	すし 三崎丸 (5651)1147	
和風居酒屋 えいと (3661)7795	浜町 蕎そば (3666)6522	
	牛・桜鍋 大和 (3666)7330	
	魚河岸料理 よし梅 (3668)4069	
	牛井の 吉野家人形町店 (5645)8139	
	鮪処 六兵衛 (3666)7543	
	中華 あづま軒 (3666)1984	
	イタリア料理 アル・ボンテ (3666)4499	
	人形町らーめん いなせ (5640)8817	
	グリルツカサ (3666)8997	
	カレーハウス Coco 壱番屋 (5695)7760	
	洋食 小春軒 (3661)88	

商処

粋処

愉処

公処

美処

20 281

BAR 暖炉 (5847)8588
ちよだ 鮪 人形町店 (6681)4278
天井 てんや人形町店 (3664)4023
日本そば 東嶋屋 (3666)6964
寿司 (5643)1144

人形町 花 (6661)0240
